

市政を問う

一般質問

9月定例会における市政に関する一般質問は、8月28日、29日、30日に行われ、11人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

* 質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。会議録は市議会ホームページに掲載、もしくは半田図書館・亀崎図書館に設置してあります。ご利用ください。

市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)



創造みらい半田 久世孝宏

半田市が進める教育の成果と今後の方針

問 全国学力学習状況調査から見える半田市の子どもたちはどのような姿ですか。

答 年によって多少の高低はあるものの、「将来の夢や目標を持っている」割合が、全国・県と比べて高い傾向が見られ、目的意識をもって学校生活を送る児童生徒が多いことがわかります。また、「読書が好き」、「本を読んだり借りたりするために学校図書館や地域の図書館に行く」と答えた割合は高く、読書好きで主体的に読書に親しもうとする姿勢が育ちつつある子が多いと言えます。さらに、家庭や地域との繋がりを強める学校運営支援協議会を全校に設置してからは、「地域の方と関わったり、地域の行事やボランティア活動に参加したりする」児童生徒が多く、地域への意識は高まっています。反面「家で復習や予習をした」、自分で計画を立てて勉強したりする」割合が

低いこと、「家で長時間テレビ等を見たり、ゲームやインターネットをしたりする」割合が高く、改善したい点としてあげられます。

半田市では、よりよく生きていくために必要な力を育むキャリア教育を推進して、元氣いっばい、笑顔いっばい、やさしいっばいの子どもたちを育ててきました。

問 半田市では、よりよく生きていくために必要な力を育むキャリア教育を推進して、元氣いっばい、笑顔いっばい、やさしいっばいの子どもたちを育ててきました。半田市民全員に関われば効果も高くなると考え、市民へのPRもしてはどうですか。

答 積極的にPRをしていきたいと思っています。教育のまち半田市を

目指し、他市には真似しにくい、結果の伴う教育を重視し、シティブロモーションに取り組み

問 教育のまち半田市を、積極的にPRしてはどうですか。

答 教育のソフト面も、大いにシティブロモーションになり得ると思います。子どもたちが、自分の将来に夢を持つような自治体であることを高らかに、誇らし



創造みらい半田 岩田玲子

発達障がい児と家族への適切な支援

問 現在、15人に1人が発達障がいと言われている。1歳半・3歳児健診では発見されにくい軽度発達障がいについて、前頭葉が発達する年中児くらいの歳に、早期発見や早期対応ができれば、問題なく小学校生活を送ることができると、一方で、対応が遅れると、症状は進行していき、早期発見、早期対応が重要であると考えますが、半田市の見解を伺います。

答 幼児期のできるだけ早い時期に発達障がいを把握し適切な支援を行うことで、その後の社会での適応能力が向上することは認識しており、早期発見、早期対応は重要と考えます。

5歳児健診は、発達障がいを早期発見し、親の心配事を受け止める健診です。半田市で実施の考えはありますか。

問 5歳児健診は、発達障がいを早期発見し、親の心配事を受け止める健診です。半田市で実施の考えはありますか。

答 半田市では、年長児を対象に発達アンケートを行い、結果を保護者と共通認識を持つなか、

必要に応じた療育相談を行っているため、5歳児健診とはば同様の効果が得られると考え、今行う考えはありません。

実際には、先生が親に話しづらいなどの問題があり、発達障がいの懇談会で受け入れも

問 実際には、先生が親に話しづらいなどの問題があり、発達障がいの懇談会で受け入れも

答 今後は保育士のスキルアップ、対応能力を高めていきたいと考えています。

子どもの健やかな成長のためには、早期発見・早期対応が本

問 子どもの健やかな成長のためには、早期発見・早期対応が本

答 岐阜市等で5歳児健診を行っているよう

ですが、取り組みたいです。今後は、関係機関と情報共有をより緊密に行い、発達障がい児と家族に対し、それぞれの状況に応じた支援に努めます。また、早期発見し、何とか療育に結びつけるよう、努力していきます。

